

看護行為中のブランケット保護の 心身への影響

Psychosomatic effects of blanketing in nursing care

徳永 なみじ¹⁾ , 深井喜代子²⁾

1) 愛媛県立医療技術大学, 2) 岡山大学大学院

ブランケット保護 (Blanketing)の意義

看護師は、患者が安心して看護を受けられるように、全身清拭や寝衣交換などのケアを、ブランケット等で身体を覆いながら行う。この行為は、患者のプライバシーを護り体温の放散を防ぐという、看護技術に共通の基本的援助行為である。しかし、ブランケット保護の心身への影響は検証されていない。



研究目的

看護行為中のブラケット保護が、ひとの心身にどのような影響を及ぼすかについて、心理的生理的指標を用いて明らかにする。

研究対象

健康な青年期女性**30名**

(2名にデータ欠損があり分析から除外)

研究方法

- 同一の対象者に，ブランケットの有無以外が同じ操作を2度繰り返す実験を実施
（被験者内比較クロスオーバーデザイン）
- 自律神経活性等の変化が，室温の影響や呼吸運動によるものではないことを確認するため，呼吸運動，皮膚表面温，主観的室温評価を観察

研究方法

実験環境

空調下で実施（11月～12月）

室温：26.2 ± 0.4°C 湿度43.8 ± 5%

照度：420～430lx

気流：0.5m/sec以下

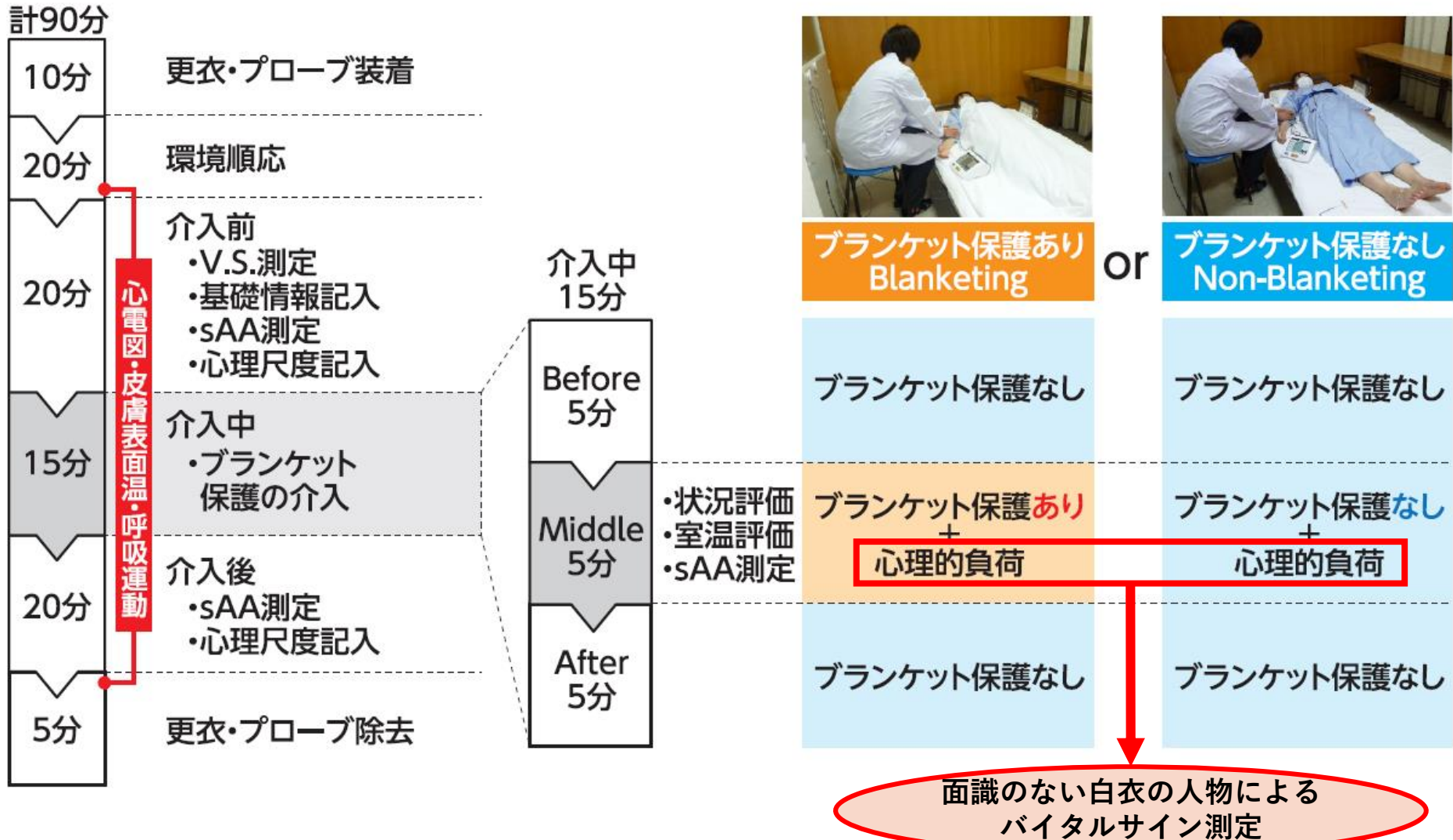
騒音：40dB以下

ブランケットが
なくても寒くない
室温・気流で実施

心理尺度

日本版POMS短縮版, 状況評価（VAS）他

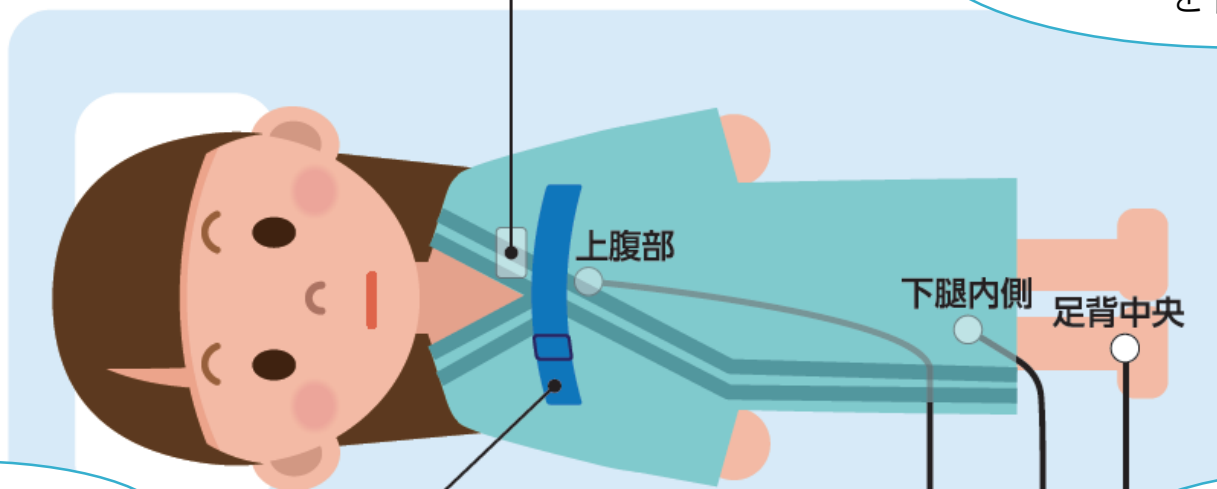
研究方法 (プロトコル)



各種プローブの装着

ワイヤレス心電計送信機
(RF-ECG, Micro Medical Device Inc.)

心臓の動きから
緊張 or リラックス
を観察



呼吸を観察

**ストレングージ内蔵
胸郭呼吸センサー(ベルト型)**

(TR-111A, 日本光電)

寒くないか
皮膚温を観察

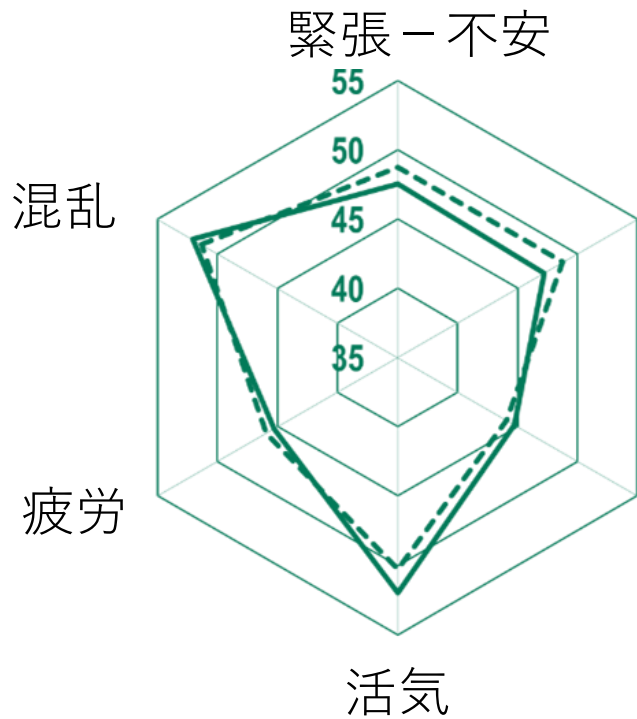
サーモトラックのプローブ

(TMS-101, Create Medic Co., Ltd.)

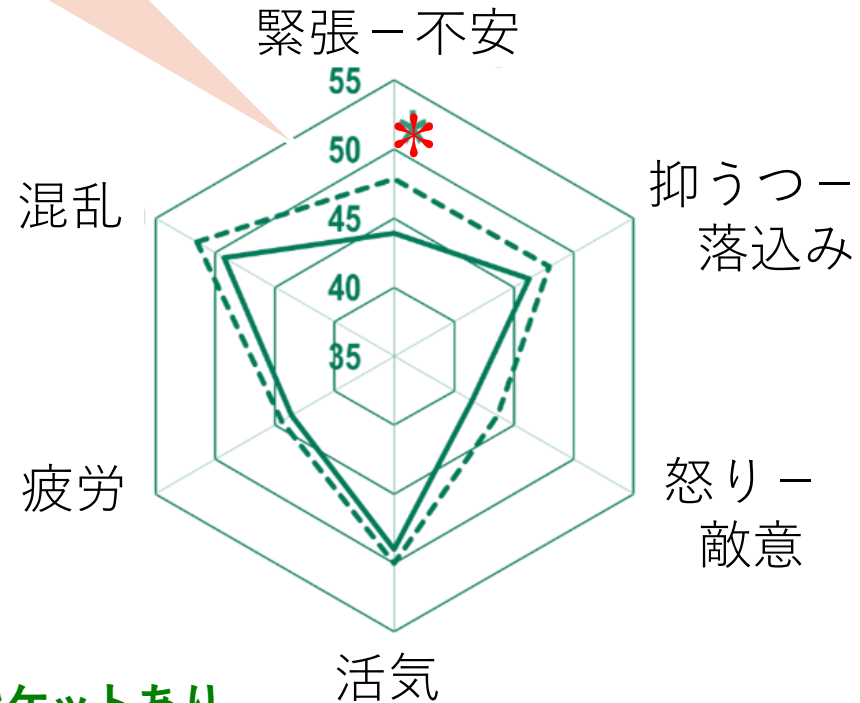
結果 1 気分評価得点の比較 (POMS)

ブランケットを
かけている方が、
緊張や不安が少ない

介入前



介入後



— ブランケットあり
--- ブランケットなし

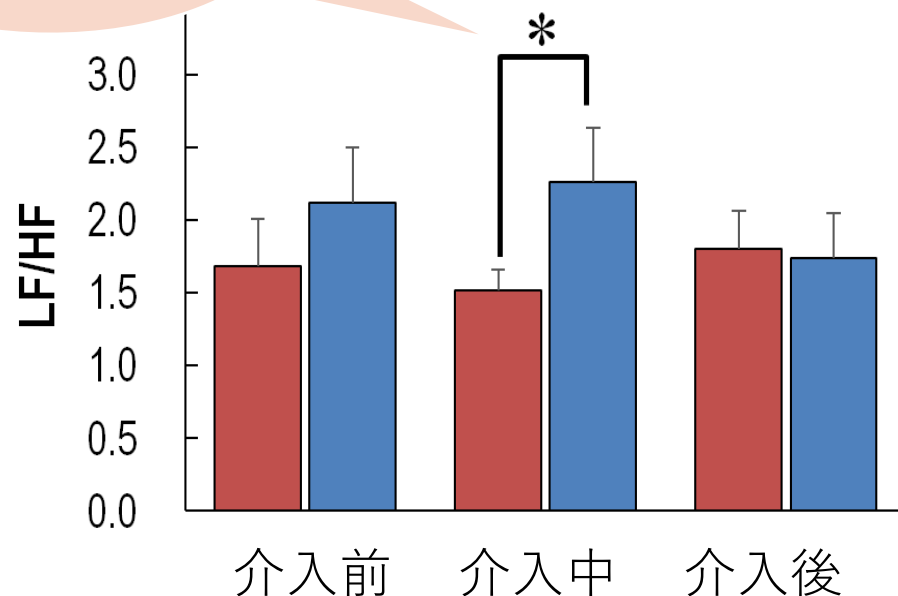
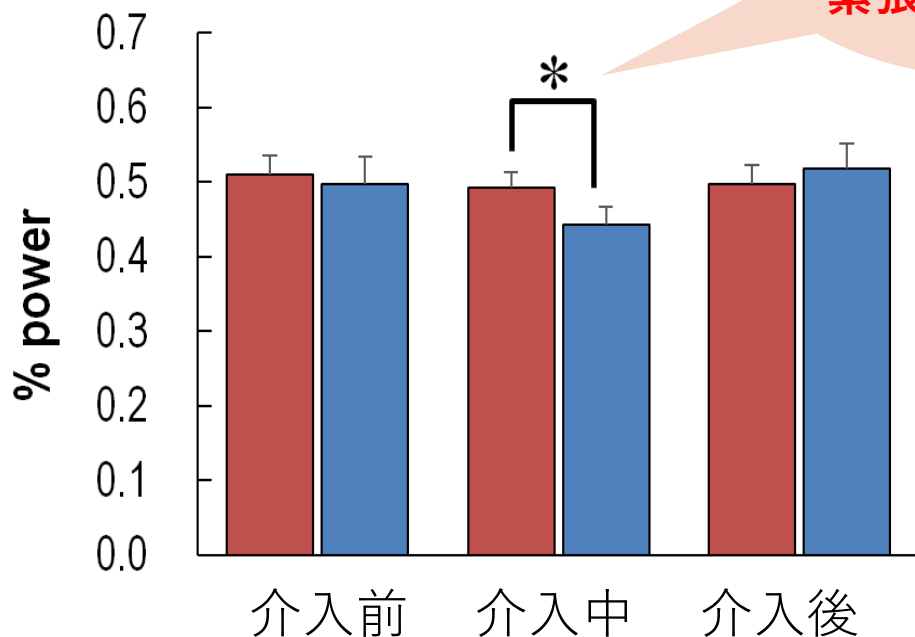
Wilcoxon signed-rank test. * $P < .05$. ($n = 28$)

結果 2 自律神経活動の比較 (心拍変動解析)

緊張すると高くなる
交感神経

ブランケットを
かけている方が、
緊張が緩和する

リラックスすると高くなる
副交感神経



■ ブランケットあり ■ ブランケットなし

Paired *t*-test. **P* < .05 (n = 28)

結果 3 主観的状況評価の比較 (VAS)

Item	ブランケット (mm)						z value	P
	あり			なし				
	25%	Median	75%	25%	Median	75%		
安心感がある	67.5	80.0	93.8	49.3	75.0	93.8	-2.201	.019*
リラックスした感じがする	62.3	81.5	95.3	58.0	76.0	88.8	-1.787	.074
守られている感じがする	67.3	81.5	94.0	50.3	71.0	89.8	-2.467	.014*
落ち着かない	6.5	20.0	34.8	7.3	20.0	32.5	-0.674	.500
不安である	6.3	19.0	30.5	6.0	19.5	38.5	-1.278	.201
肩に力が入る	9.0	23.0	39.3	8.5	25.0	40.0	-0.794	.427

Wilcoxon signed-rank test. * $P < .05$, ($n = 28$).

ブランケットをかけている方が、
安心感や守られている感じをより強く感じる

考 察

- 心理的緊張緩和や不安軽減のケアとしてブランケット保護が有効であり，快適な温度環境下であっても，適切に実施する必要がある。
- プライバシーが守られるということは，基本的人権が守られることである。また，プライバシーの価値は，プライバシー保護によってどのような活動が可能になるかで決まるとされている (Solove, 2008) 。
- よって，看護・医療におけるプライバシーの適切な保護は，患者の尊厳を護るという内在的価値に加え，安心してプライバシーを開示できるという意味で，安心・安全な看護・医療活動につながるといえる。

Solove D. J. (2008). Understanding privacy. Cambridge, MA: Harvard University Press.

結 論

看護行為中におけるブランケット保護の影響を，心理的・生理的指標を用いて検討した結果，ブランケット保護には，看護援助を受けることによる**心理的緊張を緩和し，安心感をもたらす効果がある**ことが明らかになった。

